

3. 我が国の産業競争力の強化に向けた特許の質向上について

本研究では、「各企業の事業の展開を有利にする特許の質（＝強い特許）」を得るための企業の普遍的な特許出願戦略の在り方を課題として定め、企業の大小・業種や国内外に関わらず各企業の競争力の強化を実現可能とする特許の質について検討した。

まず、継続的に事業を有利に展開するためには、国内外の経営戦略を考慮・見越した上で、有利な事業展開に繋がる特許を国内外で一つ一つ丁寧に取得することが求められる、との考え方に基づき、①どのように「優れた技術」を生み出すのか、②どのように「強い特許」とするかとの2つの側面に関する検討結果について述べ、その後、「強い特許」に繋がる研究開発及び特許出願を実現するための社内基盤を構築し、経営戦略・事業戦略の策定に關与する参謀役を果たすことができる知財部門の在り方について提案する。

<担当講師>

南 孝一 日本国際知的財産保護協会 理事長

<グループメンバー（塾生）>

梶並 彰一郎 阿部・井窪・片山法律事務所 弁護士

高橋 克 特許庁 特許審査第四部 情報記録 審査官（2013年12月まで）
内閣官房 知的財産戦略推進事務局 参事官補佐（2014年1月から）

伏見 祥子 昭和産業株式会社

松田 政広 弁理士